

第2回 水緑花くるめ推進協議会

日時：平成31年1月24日 14:00～15:50

場所：久留米市役所 307 会議室

委員出席者：8名

【会長】九州大学大学院芸術工学研究院 教授 博士(農学) 包清 博之
 医療法人 楠病院 常務理事 吉永 美佐子
 九州農園 栗木 トシ子
 植栽ボランティア「花人さん」 岩永 マス子
 道守くるめネットワーク 代表 原口 与三吉
 国土交通省九州地方整備局建政部公園調整官 平塚 勇司
 福岡県建築都市部公園街路課長 堀之内 建司
 久留米市都市建設部技術担当次長 大石 哲郎

議題 久留米市都市公園整備・運営ガイドライン(素案)について

- 1 新規公園整備の指針
- 2 公園再整備の指針
- 3 官民連携による公園運営の指針

主な意見

議題1 新規公園整備の指針
議題2 公園再整備の指針
<ul style="list-style-type: none"> ・公園トイレのユニバーサル化も考えていく必要がある。また、どの公園がユニバーサル化されているかの情報発信も大切である。 ・避難場所となっている公園では、テントでの防災キャンプができるようになると、避難場所という意識が高まり、いざという時に役立つのではないかと。 ・公園利用の一つとしてスポーツや健康づくりがある。安全に利用できる公園でウォーキングをするなど、健康増進を目的にした公園があってもよい。 ・公園の再整備は他都市の事例を参考にし、久留米市でも早めに良いモデルとなる実績をつくるのが大事である。
議題3 官民連携による公園運営の指針
<ul style="list-style-type: none"> ・今後公園運営について考えていくうえでは、現状の公園での禁止事項等の情報は整理したほうがよい。 ・今後の課題であるガイドラインの実現に向けた禁止事項等のマネジメントの仕組みについては、具体的にどのような方法があるか考えていく必要がある。

<ul style="list-style-type: none">・あまり使われていない公園は、地域のコミュニティづくりのため地域型の農園にしたらどうか。
<ul style="list-style-type: none">・民間事業者からは、民間参入の可能性がある公園はあるとの声も聞く。久留米市でも民間への聞き取り調査を行い、事業を進めるとよいのではないかと。
(委員賛同) <ul style="list-style-type: none">・『久留米市公園整備・運営ガイドライン』（素案）の指針については、概ね了承した。